

選考結果・採用までのスケジュール

公立学校教員採用候補者選考

平成32年度選考(令和元年度実施)の結果

	小学校						中学校							中学校・高等学校				
	地域枠 (気仙沼)	地域枠 (東部)	特別支援 学校枠	英語枠	一般枠	計	国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保体	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	13	34	65	18	340	470	44	116	87	44	5	77	373	246	35	29	19	329
2次受験者	10	19	53	16	262	360	40	38	36	23	5	31	173	72	18	21	16	127
名簿登載者	3	5	11	10	201	230	29	23	22	14	4	17	109	40	10	10	10	70

	高等学校														養護 教諭	栄養 教諭A	栄養 教諭B	合計
	国語	公民	地歴	数学	理科	農業	水産	工業	商業	情報	英語	看護	福祉	計				
1次受験者	44	32	60	85	86	10	2	29	25	16	55	2	7	453	123	0	26	1,774
2次受験者	24	12	41	20	34	10	2	18	20	7	27	2	5	222	29		7	918
名簿登載者	14	6	13	5	10	2	2	4	8	1	13	1	1	80	20		3	512

出願から採用までのスケジュール



公立学校実習助手・寄宿舎指導員採用候補者選考

平成31年度選考(平成30年度実施)の結果 ※昨年度の結果です

	実習助手				寄宿舎指導員	合計
	理科	工業	農業	計		
1次受験者	24	20	20	64	25	89
2次受験者	8	8	12	28	16	44
名簿登載者	2	2	2	6	3	9

出願から採用までのスケジュール



問合せ先 宮城県教育庁教職員課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

Tel (022)211-3637 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>



このパンフレットは、東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科3年生5名の協力を得て編集しました。
デザイン・編集スタッフ: 遠藤 颯/ 櫻本莉歩/ 佐々木歩果/ 福田莉子/ 柳橋捺美

令和3年度(令和2年度実施) 宮城県公立学校 教員募集案内

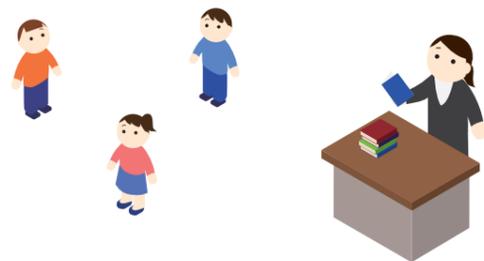
実習助手・寄宿舎指導員 募集案内



宮城県教育委員会



新任教員が感じた 教員の魅力



新教育長と小学校、中学校、高等学校、実習助手 それぞれの新任教員が、教員の魅力について語り合いました。

動画はこちらから → <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/r03pamphlet.html>



**宮城県教育委員会教育長
伊東 昭代**
京都大学法学部を卒業後、宮城県庁入庁。
企画部政策課長、教育庁教育次長、東京事務所長、
保健福祉部長、震災復興・企画部長、総務部長
を経て、今年度より初の女性教育長



佐々木 大樹
石巻市立渡波小学校
教諭
4年生担任



岩淵 花菜
南三陸町立歌津中学校
教諭
1年生副担任
バレーボール部顧問



佐藤 さつき
田尻さくら高等学校
教諭
2年次チューター
生徒指導部



加藤 理
加美農業高等学校
実習助手
農場部、陸上競技部顧問

教員の魅力、教員を目指したきっかけは？

佐々木：小学校から大学と色々な先生方と出会い、その先生方にすごくあこがれを抱き、こういう大人になりたいと思ったのがきっかけです。教員になってからは、子供たちと共に成長することができることにやりがいを感じています。

岩淵：初めて講師をしたとき、特別支援学級担任でした。入学式で生徒から「先生」と言われたときに、私は今日から先生になるんだと自覚と覚悟が生まれました。そこから正式採用を目指してがんばろうと思うようになりました。

教育長：子供たちと触れ合うということは、気持ちの上で、とても元気をもらいますね。

佐藤：学生時代に歴史が嫌いな友人が多く、どうして歴史の面白さがわからないのかなと思いました。もともと多くの人に歴史の奥深さや魅力を伝えていけたらいいなと感じていたため、それを実践したく、教員を志しました。

教育長：自分が好きなことを仕事にできるということは素晴らしいですね。

加藤：私の父が長年実習助手として働いていたので、子供のころから授業の様子や、学校の様子を聞いていました。そこで面白そうだなと感じたのがきっかけになっています。

教育長：皆さんいろいろな熱い思いをもって教員になられたんですね。

今まで、教員になってよかったと感じた教育活動は？

佐々木：学習発表会です。4年生担任として合唱の指揮をしました。私が一生懸命指揮をすると、子供たちも一生懸命歌ってくれました。発表が大成功し、みんなで感動できたことが一番心に残っています。

教育長：子供たちと心が通じ合えて一緒にがんばれたことや、成果を分かち合えるということは素晴らしいことですね。

佐藤：文化祭の実施に向けて、実行委員と計画を練り、運営していく場面がありました。いろいろ準備をしていく中で、生徒が頼りにしてくれる姿がとてもかわいく感じました。文化祭が大成功に終わったときに、実行委員の生徒たちと喜びを分かち合えたときは、とても感動しました。

教育長：私が教育次長のとき、子供のとてもけなげな姿を見て、未来を感じました。子供ががんばっているとか、一生懸命何かしていると救われる部分があります。教員というのはその部分に大きく関わります。大変な部分もあるでしょうけど、とてもやりがいのある職業だと思います。

授業で工夫していることは？

佐藤：「これはなんでなんだろう。」という知的好奇心を生徒たちに身に付けさせるために、資料の読み取りを、個人やペアワーク、グループワークで考えたり、意見交換をしたりする活動をしています。そういった活動の助けとなっているのが、本校にも最近設置された電子黒板やタブレットです。教科書や資料集だけでなく、映像資料も簡単に生徒に提供することができます。ICT機器を効果的に活用することによって生徒たちの力をもっと伸ばしていけたらと考えています。

教育長：宮城県もいま情報化ということで、いろんな機器が入り、教え方も変わってきています。世界史はカタカナをみているだけでは理解しにくいので、映像を用いるのは大切なことではないでしょうか。自分の好きな世界史のことを生徒も好きになってくれるような授業ができるといいですね。

加藤：半年前まで働いていた民間での経験を生かしたいと常に思っています。現場で培ってきた安全意識を、実習を通して教えていければと思います。就職した後に、安全の意識が足りなかったとか、就職先の職場のほうで5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が徹底されているというようなギャップがないように、高校生活の中から安全や5Sの意識を身に付けられるようにしていきたいです。

教育長：民間で働いていた経験が実感として生徒に伝わるといいですね。

息抜きや気分転換の仕方は？

岩淵：ご飯をしっかり食べること。同じ職場の先生方とたくさんお話をすることです。

教育長：おしゃべりをするので気分転換しているのですね。

加藤：趣味の一つがスノーボードです。以前は仙南に住んでいましたが、現在は県北に住んでいます。山が近く雪が多いので、これから雪が降るのを楽しみにしています。

教育長：体調や、気持ちを上手く整えながらやっていくことは大切ですね。自分にとってもそうですが、子供たちにとってもすごく良い影響になります。ぜひ、気分転換もしながらがんばってほしいと思います。

苦勞したことや、困ったことは？

岩淵：周りの友達と話すことが苦手な生徒がいます。その生徒にどのように働きかけたらいいのか、毎日悩んでいます。担任の先生と相談して、隣の席の生徒にノートを見せてもらうなどサポートを得られるように、工夫をしています。先日、初めて書写の作品を提出することができました。子供の成長が少しずつ見え、こちらの思いが少しずつでも伝わってくると、またがんばっていかうという気持ちになります。

教育長：生徒には一人一人個性があります。全ての生徒に同じように指導すれば上手くいくということではありません。実情に合わせて、先生方一人一人はもちろんのこと、学校全体や教育委員会が、どうしたら子供たちが元気に学校に通ったり、自分たちの居場所を見つけて勉強したりすることができるかを一緒に考えていかなければいけません。抱え込まず、みんなで考えていきましょう。

新任教員へのメッセージ

教育長：皆さんのように教員を志して、教員になり、やりがいを感じながら、大変なことがあってもそれを乗り越えようとチャレンジしているということで、私も心強く感じました。今後も、震災からの復興、少子化など課題はたくさんあります。教員は、未来の社会を担っていく人たちを育てていくという本当に大事な仕事です。そういったことに皆さんと一緒に関われるということは、私も嬉しく思います。これから教員を目指してがんばる人たちに對して本当にいいエールになったと思います。今日はありがとうございました。これからもよろしくお祈いします。



みやぎの教員に 求められる資質能力

宮城県の教員には
様々な資質や能力が求められます。



みやぎの教員に求められる資質能力

みやぎの教員には、教員個人の持つ教育への情熱や自己研鑽力、たくましく豊かな人間性を基盤として、職場内外での各種研修等によって、授業力や子供理解、生徒指導力などの実践力をより確かなものにする事が求められています。

みやぎの教員として、大地にどっしりと根ざし、大空に向かってそびえ立つ櫟(教員)は、しっかりとした根や太い幹に支えられて(実践力の基盤となる意欲、人間性等)、大きな枝を伸ばしたくさんの葉を茂らせる(学校の教育を構成する実践力)大樹へと成長することをイメージしています。



↓詳しくはこちら
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/shihyo.html>



宮城県総合教育センター

教員研修の充実に向けて(教職員研修計画)

みやぎの教員として採用された方は、子供たちに最適な学びを提供するため、生涯に渡って学び続けることが求められています。学び続ける教員を支援するため、教職経験段階に応じた研修体系を構築し、求められる資質能力の向上につなげる研修と共に、大学院や研修機関等への派遣研修も含め、宮城県内にとどまらない幅広い視野をもった教員の育成に取り組んでいます。

↓詳しくはこちら
<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/>



Q. 出願から選考試験合格までの流れを教えてください。

A. 出願する前に、電子申請システムでIDを取得し、出願期間内に電子申請をします。第1次選考で筆記試験(専門、教養)、適性検査を受験し、合格すると、第2次選考で集団討議、面接、実技を受験します。2次に合格すると名簿掲載になり、採用が内定します。

Q. 教員採用選考関係の情報はどのようにしたら手に入れることができますか。

A. 宮城県教育庁教職員課のホームページをご覧ください。最新の情報をご覧ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

Q. 採用後の給与について教えてください。

A. 給与 (平成31年4月1日現在)

	区 分	小・中学校及び義務教育学校	県立高校・県立特別支援学校
初任給	大学院(修士)修了	246,048円	246,048円
	大学卒	222,976円	222,976円
	短大卒	199,484円	196,368円

※上記の初任給については教職調整額(4%)及び義務教育等教員特別手当を含むものとなります。

前歴加算…民間企業等における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算があります。

諸手当…地域手当(給料+教職調整額+扶養手当の合計額の4.5%~1.5%)、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(年間4.5ヵ月)などがそれぞれの要件により支給されます。

Q. 宮城県外で試験を受けられますか。

A. 第1次選考は、東京会場で受験することができます。受験可能な校種・教科については選考要項で確認してください。

Q. 大学院進学希望者及び 大学院等在籍者の特例はありますか。

A. 第2次選考に合格した人で、国内の大学院修士課程(通信制課程を除く)、教職大学院又は指定の専攻科へ進学する予定、若しくは在籍中の者に対して、大学院修士課程及び教職大学院修了並びに専攻科修了までに、その課程等を修了するとともに、合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状又は指定の資格を取得することを条件に採用候補者名簿への掲載を猶予します。希望する人は出願時に申請が必要です。

Q. 講師として働きたいのですが、どのようにすればよろしいですか。

A. 教員免許状があれば、所有する免許状に応じて小・中・高・特別支援学校の講師として働くことができます。常勤講師は、欠員、産前・産後休暇、育児休業、病気休暇などにより補充が必要になったとき、その代替者として勤務します。非常勤講師は、特定の時間のみ勤務するもので、時間給が支給されます。講師の任用の希望は、電子申請又は、書面で随時受け付けております。詳しくは、教職員課のHPをご覧ください。

※ 正式には、令和2年4月中旬に公表される、令和3年度宮城県公立教員採用候補者選考要項で確認してください。

Q&A

よくある質問をまとめました。

みやぎの先生たち①

「子供にとって毎日が楽しくて大好きな学校に」

みやぎの教員としてのやりがいは？

子供たちと共に目標に向かって努力していく中で、子供が成長する瞬間に出会ったり、その手助けをしたりすることができることです。

子供の発言や、行動からもたくさんのことを教わります。先輩教員の方々が親身になって相談に乗ってくれます。自分磨きができる環境が整っており、子供と共に成長できることにやりがいを感じます。

職場の環境や先生方は？

先生方は、子供たち一人一人が安心して楽しく充実した学校生活を送れるために、真剣に子供たちと向き合っています。私は、経験豊富な先輩方に何かあればすぐに相談するようにしています。先輩方は、改善策と一緒に考えてくださいます。子供の未来のために、チーム渡波として連携して仕事ができている。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

教員は、子供たちと共に悩み、努力していくことで成長していくことができる職業だと思います。毎日、上手くいくことばかりではないかもしれませんが、子供と力を合わせて課題を達成できたときは、最高の気持ちになります。私も失敗もありますが、日々学び努力しています。一緒に挑戦していきましょう。



佐々木 大樹

- 石巻市立渡波小学校教諭1年目
- 佐沼高校、宮城教育大学卒業
- 登米市立佐沼中学校、中田中学校、石越小学校で常勤講師を経験



小学校編

中学校編

「謙虚・笑顔・素直さ」

みやぎの教員としてのやりがいは？

震災を乗り越え、地域の未来を担う子供たちが、一生懸命学び、様々なことを成し遂げようとする姿に、いつもやる気とパワーをもらっています。私にとって、「今、目の前にいる子供たち」が一番の「先生」です。これからも、子供たちと一緒に挑戦していける先生でありたいと思います。

職場の環境や先生方は？

教科指導では、国語科以外の先生方にも、生徒の実態を踏まえた指導上の工夫等たくさんのお話を伺っています。何より、何でも話せる、質問しやすい職員室の雰囲気、教師としての私の原動力になっています。また、生徒が活躍した様子についての話題で盛り上がることも多く、楽しい職員室です。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

子供たちや、先生方から、毎日たくさんのお話を聞いています。不安な気持ちも少なくないと思いますが、教師になりたいという今の自分の気持ちを大切に頑張してほしいと思います。私も頑張ります。



岩淵 花菜

- 南三陸町立歌津中学校教諭1年目
- 気仙沼高校、盛岡大学卒業
- 気仙沼市立大谷中学校、鹿折中学校で常勤講師を経験

高等学校編

「生徒たちの人生に携われる喜びを胸に」

みやぎの教員としてのやりがいは？

生徒と様々な感動を分かち合えることです。学習面でも部活動でも、できなかったことができるようになったときなど、生徒のスキルのみならず内面の成長も身近に感じることができます。もちろん、うまくいくことばかりではなく、意見の衝突や、苦勞することもあります。その分、乗り越えたときにやりがいを感じます。

職場の環境や先生方は？

本校は定時制で単位制の普通科高校です。学級や担任は置かず、少人数で班を編制したチューター制(個別対応担任制)です。授業の平均人数は約8名で、少人数授業で一人一人の力に合わせた学習活動を展開しています。また、社会人聴講生の方々も生徒と同じ教室で学んでいます。一人一人の「チャレンジ」を応援できる、あたたかな学校です。



みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

私たちが学生時代だったころと「現在」では、学校現場は変容していると思います。指導法が変わっていくこと、家庭環境の多様化、予測困難な未来。昔とはまるっきり違うため、戸惑いもありますが、生徒だけでなく教員自身も「新しいことへのチャレンジ」ができます。楽しみながら生徒の成長を近くで感じてみませんか!?



特別支援学校編

「生徒が幸せに生きるための力になりたい」

勤務している学校はどんな学校？

開校4年目を迎える新しい学校です。復興が進む女川の地に、宮城県初の3年間全寮制(敷地内に寄宿舎併設)を特徴の一つとした、知的障害の高校生のみを対象とした特別支援学校です。食品製造・福祉・サービスの三つのコースによる職業教育に力を入れています。食品製造コースでは「ほや塩」を中心とした女川高等学園オリジナル商品の製造、福祉コースでは介護職員初任者研修修了書取得に向けた学習や地域交流、サービスコースではビルクリーニングやカフェ営業を活用した接客サービスの技術向上に取り組んでいます。

座右の銘は？

“時間は有限、可能性は無限”という言葉大切にしています。目の前の生徒が将来、幸せに生きるために何が必要かを考え、向き合っていくことを心掛けています。生徒と共に過ごすことができる時間が限られている中で、どのような力を伸ばしていきたいかを生徒・保護者・先生方と共に考え、力を尽くしています。また、学び続ける姿勢をもち、積極的に研修会に参加して資質向上に努めています。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

生徒と共に過ごしている一瞬一瞬の時間が生徒の未来、「みやぎ」の未来に繋がっています。「みやぎ」の未来のために、一緒に力を尽くしていきましょう。



荒瀬 和成

- 支援学校女川高等学園教諭3年目
- 鶴岡中央高校、淑徳大学卒業
- 山形県立鶴岡中央高等学校、岩手県立久慈東高等学校で常勤講師、岩手県立西和高等学校実習助手を経験

みやぎの先生たち②

「みやぎの子供たちの笑顔の花を咲かせましょう」

みやぎの教員としてのやりがいとは？

一人一人の生徒との日々の関わりを通じて心身共に大きく成長していく様子を見ることが出来ます。未来を担う子供たちの生涯にわたる健康生活の土台づくりとして、直接働きかけることができるところにやりがいを感じます。保健室での関わりを通して生徒を受容し寄り添うことはもちろん、悩みを抱えた生徒に対して生徒自身の持っている可能性を信じ、励まし、時には背中を押してあげることも必要だと感じます。保健室から巣立ち、学校生活でがんばっている様子を目にしたときは、ほっと安心するとともに、一番の喜びを感じます。

職場環境や先生方は？

初めての土地、仕事で思い悩むことも多々ありましたが、安定感に包まれた職場環境や一緒に働く先生方の支えで続けることができています。また、外部の研修に出る機会も多くあり、学べる環境にありがたみを感じます。今は「チーム学校」の一員としても充実した日々を過ごしています。また、町内外の養護教諭、外部機関など、様々なネットワークを広げ「人とのつながり」を大切に仕事を進めています。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

「みやぎ」は教育への意識が高く、温かく優しさで溢れる地域です。次代を担い未来をつくる子供たちの幸せのため、自分の力で大きく羽ばたけるよう一緒に支援していきましょう。



小林 有沙

- 蔵王町立遠刈田中学校養護教諭3年目
- 仙台三桜高校、東北福祉大学卒業



養護教諭編

栄養教諭編

「“あしたも楽しみ!”の音がききたくて」

現在の仕事内容は？

学校給食の運営・管理が主な仕事です。具体的には、栄養管理、衛生管理、物資管理などです。また生徒に食の大切さを伝える、食に関する指導も大切な仕事の1つです。教職員や保護者、地域の生産者などと連携しながら、食育を推進しています。

みやぎの教員としてのやりがいとは？

給食を楽しそうに食べる生徒たちの姿を見たり、「おいしかったよ!」「また作ってね!」などと声をかけられたりすると、この仕事をしていて良かったなと感じます。自分が計画した給食をたくさんの人たちが食べるといことは、プレッシャーにもなりますが、給食を通して多くの人に自分の思いを届けられる瞬間でもあり、日々喜びを感じます。ぶかぶかの制服を着て入学してきた生徒たちが、立派に成長して卒業していく姿を見ると、給食が彼らの身体の一部になっているのかと思い、感慨深いものがあります。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

近年、社会においても食の大切さが見直され、食育が重要視される今、私たちの仕事に対する期待感や責任もこれまで以上に高まってきています。学校給食は児童生徒にとって食習慣が形成されるとも大切な時期にあり、それだけに私たちの担う役割は大きいものです。栄養教諭は学校の中心となり、子供たちに食の大切さを伝えていく、とてもやりがいのある仕事だと思います。食の大切さ、楽しさを一緒に伝えていきましょう。



佐々木 志穂

- 岩沼市立岩沼中学校栄養教諭4年目
- 宮城学院高校、東京農業大学卒業
- 角田市立角田小学校兼角田市学校給食センター、宮城県名取高等学校定時制技師(学校栄養士)、多賀城市立多賀城中学校兼多賀城市学校給食センター栄養教諭8年を経験

実習助手編

「『生徒の未来』が『みやぎの未来』になる」

みやぎの教員としてのやりがいとは？

たくさんの子供の成長を間近で見ることができることです。特に自分の言動で子供が変化してくれるのを見ると、とてもうれしく感じ、やりがいを感じます。

職場の環境や先生方は？

授業以外にも校務処理や行事に関して分からないことがまだまだたくさんありますが、何に対しても皆さんが優しく教えてくださるので、とても心強いです。

今までの生徒との関わりで印象に残っていることはなんですか？

根気強く丁寧に教えることで、初めは授業に興味や関心を示さなかった生徒が、次第に興味を示すようになり、その教科を好きになってくれたことです。



みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

子供たちの成長を間近で見ることができる教員という仕事は、あらゆるところに楽しさややりがいがあります。教員になるか不安がある方もいるかもしれませんが、ぜひ一緒にみやぎの教育を支えていきましょう。



「子供たちに寄り添い、経験の幅を広げていく」

現在の仕事内容は？

寄宿舎内では分掌に関係なく全般的な生活指導を行っています。また、情報管理係としてホームページの管理などを行っています。基本的な生活習慣が身に付くよう、掃除、洗濯、買物、余暇などの時間の使い方、集団生活内で友人との関わり方など、将来の社会的自立に向けて指導を行っています。

みやぎの教員としてのやりがいとは？

寄宿舎で生活する生徒の中には集団生活の場で初めて経験することも多く、できなかったことができるようになった時の喜びを一緒に共有し、日々成長していく姿を近くで見られることがやりがいです。また、寄宿舎は生活の場でもあるので、学校生活とはまた違う様々な表情を見せてくれます。寄宿舎生には寄宿舎生活を通して、生活経験や社会経験の幅を広げてもらいたいと考えています。

みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

寄宿舎は将来自立に必要な生活経験や社会経験を提供できる場所でもあり、日々の生徒の成長を身近に感じることができる所です。寄宿舎指導員として、生徒一人一人に寄り添い、生徒の将来の生活が豊かになるように支援していきましょう。

寄宿舎指導員編



岩淵 悠

- 宮城県立視覚支援学校寄宿舎指導員1年目
- 石巻高校、東北学院大学卒業
- 千葉大学医学部附属病院 言語聴覚士
- 支援学校女川高等学園寄宿舎指導員3年を経験



各地域の教育

宮城県教育委員会の地方機関として、
県内5カ所に教育事務所が設置されています。

北部教育事務所

あなたが蒔く教育の種が大崎・栗原の花となる

県北から県央に広がる山麓に、自然とまちが共生する文化が息づきます。創意にあふれ、心豊かに成長する子供たち。多様な暮らし・多様な学びを満喫する地域住民。「豊かな生き方」ができるよさが、ここにあり

ます。中堅の先生方の講話や模擬授業を通して、次代を担う自信にあふれた教職員を育てています。



大河原教育事務所 人も自然もあたたかい大河原管内

蔵王町にある宮小学校には、「小野訓導顕彰館」があります。大正11年、教え子を助けるために白石川に殉職した小野訓導を偲び建てられたものです。そこには、遺品や当時の新聞などが展示され、今でも「命の大切さ」を考えさせられる貴重な場となっています。初任者研修では、蔵王自然の家を利用した研修、幼稚園での体験研修、拠点校の指導教員による指導を取り入れるなど、教師力向上に力を入れています。



↓詳しくはこちら
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/h30pr-movie.html>



渡邊 愛美

- 石巻市立大河原小学校1年目
- 山形中央高校、宮城教育大学卒業



気仙沼教育事務所

海より深く 山より高い志を 三陸の地で!

めぐみ豊かな自然と温かい地域の人々に囲まれた教育環境にあります。ふるさとを愛し、志を高く掲げながら、子供たちと教師が共に歩み、成長する教育を実践しています。子供たちの思いや願いを大切に丁寧な教育の実践が、新しいまちづくりへの貢献にも…。そのような思いから、アットホームな雰囲気の中にも確かな研修会等を実施しています。

↓詳しくはこちら
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/h30pr-movie.html>



仙台教育事務所 “みちのくの未来を担う人づくり”ともに!

日本三景松島をはじめ、風光明媚な大自然、国府多賀城、国宝瑞巖寺に鹽竈神社といった名所も点在し、東北の空の玄関、仙台空港もある宮城の要衝、魅力たっぷりの地域です。社会を生き抜く礎となる教養はもちろん、豊かな人間性と社会性を高められる教員の育成を目指し、諸先輩による優れた教育技術の伝承、各分野で活躍なさっている方々の講話、集団での体験活動等、様々な研修を行っています。



↓詳しくはこちら
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/h30pr-movie.html>



アサガオプロジェクト 想いや願いをつなぐ次世代の子供たちを

アサガオプロジェクト

東日本大震災で犠牲になった児童が大切に育てていたアサガオの種を、宮城県内各地の学校で受け継いでいこうとするプロジェクトです。その種を、昨年度採用された方に育てていただき、その様子を教職員課のHPに掲載しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/r1asagao.html>



みやぎの教師を志している方へのメッセージを。

毎日の生活の中で、子供たちの成長を一番近くで感じられ、たくさんの発見や驚きを感じています。温かい人間関係づくりを通して、アサガオプロジェクトのようにつながりを広げ、想いや願いを共有して、たくさんの笑顔の花を咲かせていきたいと思っています。一緒に頑張っていきましょう!



東部教育事務所

東の海に未来を望み 西の山に高き志を誓う

豊かな自然の恵みと、地域の枠を超えた温かい人々の絆により、震災からの復興を力強く推進しています。未来を担う人材の育成を目指し、学校施設の新設や小中一貫校、教育研究所など特色ある取組を展開しています。先輩教師の授業参観や研究協議を通して授業力の向上を図るとともに、同期の教員同士の話し合いの場を設け、授業に役立つ情報交換等ができるように配慮しています。



↓詳しくはこちら
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/h30pr-movie.html>

